

No.	日程	講師名	講演タイトル	講師現職	略歴
①	12/7 (土)	 北村 森 (きたむらもり)	新幹線・途中下車の魅力	商品ジャーナリスト、サイバー大学 客員教授 (元「日経トレンディ」発 行人 兼 編集長)	富山県出身。慶応義塾大学法学部政治学科卒業。1992年、日経ホーム出版社に入社。20代のころより、「日経トレンディ」「日経おとなのOFF」両誌にて、国内外のシティホテル・リゾートホテル、旅館の宿泊チェックに携わるなど、各種商品の利用・使用評価を一貫して手掛ける。2005年、「日経トレンディ」編集長に就任。2007年、同誌の発行人を兼務。「消費者がおカネで買えるものすべてをテーマに据える」を旗印に販売部数を伸ばす。2008年、日経ホーム出版社を退職。以来、商品ジャーナリストとして活動。製品・サービスの評価、消費トレンドの分析、地方自治体と連携する形で地域おこしのアドバイザー業務に携わっている。編集長時代より現在にいたるまで、テレビ・ラジオ番組のコメンテーターとしても活動。フジテレビ「ワッツ!? ニッポン」(2006年)、TBSラジオ「スタンバイ！」(2005年～2012年)、ABC/全国テレビ朝日系列「ヒットの泉」(2012年～2013年)などに、レギュラー・準レギュラー出演。
②	12/14 (土)	 山出 淳也 (やまで じゅんや)	まちづくり×アート ～アートを地域経営のOSに～	NPO 法人 BEPPU PROJECT 代表理事 ／別府現代芸術フェスティバル「混 浴温泉世界」総合プロデューサー/ 国東半島アートプロジェクト 総合 ディレクター／アーティスト	1970年大分生まれ。PS1 インターナショナルスタジオプログラム参加(2000?01)。文化庁在外研修員としてパリに滞在(2002?04)。主な展覧会として「台北ビエンナーレ」台北市立美術館(2000?01)、「GIFT OF HOPE」東京都現代美術館(2000?01)、「Exposition collective」Palais de Tokyo、パリ(2002)など多数。帰国後、地域や多様な団体との連携による国際展開を目指して、2005年にBEPPU PROJECTを立ち上げ現在にいたる。 平成20年度 芸術選奨文部科学大臣新人賞受賞(芸術振興部門)
③	12/21 (土)	 太田 浩史 (おおた ひろし)	都市再生のための空間デザイン	東京大学生産技術研究所講師／東京 ピクニッククラブ共同主宰	建築家。東京大学生産技術研究所講師。1968年東京都生まれ。1991年東京大学工学部建築学科卒業。1993年同大学大学院工学系研究科建築学専攻修士課程修了。1993-1998年より東京大学生産技術研究所助手。2000年デザイン・ヌーブ設立。2003年-2008年 東京大学国際都市再生研究センター特任研究員。2009年より東京大学生産技術研究所講師。主な作品に「AGC スタジオ」「熊本アートポリス・白川のトイレ」など。編集企画・執筆に『10+1 #31 コンパクトシティ・スタディ』(INAX 出版)、『世界の SSD100—都市持続再生のツボ』(彰国社)など。東京ピクニッククラブを2002年より共同 主宰。
④	1/18 (土)	 中田 宏 (なかだ ひろし)	まちづくりは、人づくり	衆議院議員/青山学院大学大学院 国 際マネジメント研究科 客員教授/岡 山理科大学 客員教授/倉敷芸術科学 大学 客員教授/千葉科学大学 客員 教授	昭和39(1964)年9月20日生まれ。会社員の父親の転勤に伴い小学生から高校生の間は横浜、福岡、大阪、茅ヶ崎、横浜と移り住む。身長184センチ、体重75キロ。趣味は読書とフィットネスジムでのトレーニング。座右の書は「路傍の石」(山本有三)、座右の銘は「先憂後楽」。血液型、性格共にA型。元横浜市長。
⑤	1/25 (土)	 アサダワタル (あさだわたる)	表現すること 社会を触ること ～一人ではなく、同質的でもなく ～	日常編集家	1979年大阪生まれ。“日常編集家”という名の放浪芸人。音楽を主体に各地で文化プロジェクトを演出。個から生まれる妄想や表現が、様々なコミュニティにおける常識や人間関係をリミックスしていく状況に立ち会いたいと常々願っている。2013年、ドラムを担当するSjQ++(HEADZ)にて、アルスエレクトロニカ2013 デジタルミュージック/サウンドアート部門にて準グランプリ受賞、あわせて新芸能ジャンル「DJ 話芸」の家元に就任。著書に『住み開き 家から始めるコミュニティ』(筑摩書房)、『アール・ブリュット アート 日本』(平凡社、編著)、『編集進化論』(フィルムアート社、共著)など。『マガジン航』、『ソトコト』などで連載中。神戸女学院、プール学院大学などで講師。滋賀県立大学大学院環境科学研究科博士後期課程在籍。
⑥	2/1 (土)	 迫 一成 (さこ かずなり)	日常を楽しむデザインと上古町 商店街におけるシビックプライ ドの視点	hickory03travelers 代表/・新潟市 上古町商店街理事	1978年 福岡県生まれ新潟大学人文学部卒業。2001年クリエイティブ集団ヒッコリースリートラベラーズを結成。新潟市上古町商店街理事。合同会社アレコレ代表。「日常を楽しもう」のコンセプトと共に7人のメンバーで新潟市上古町の店舗運営と新潟市美術館ミュージアムショップの企画運営を行う。イラスト、グラフィックデザイン、ブランディング、ブライダル事業、印刷物の制作、Tシャツ及び各種グッズ制作、アート関連の企画開催、空間デザイン、写真、商店街を楽しむ活動、講演、ワークショップ、教室など、対象も活動内容も幅広く展開している。新潟市上古町商店街に位置する店舗は築80年の元酒屋・木造2階建を活用した空間。手刷りのシルクスクリーンのウェア、オリジナルデザイン商品、その他新潟的な土産品や、日常が楽しくなるようなアイテムを販売。地域産業との連携、商店街の近隣店舗とのコラボ商品、障がい者施設の商品開発も多数。「そこだから出来ること」を「楽しみながら感謝」する姿勢で、幅広くそして柔らかく活動中。地域に根差し、デザイン力を活かした商店街活動は全国的に注目されている。